



SSH通信



第4号

2013年9月13日発行

2013 SSH 生徒研究発表会

自然科学部生物班は8月7, 8日に横浜で行われたスーパーサイエンスハイスクールの生徒研究発表会に参加し, 見事, ポスター賞を受賞しました。ポスター賞を受賞したのは対象となる160校のうちの25校。本校では昨年度に引き続き2年連続の受賞となりました。



SSHの大会へ向けて部員全員で頑張ってきたので, ポスター発表賞を受賞できた時はとても嬉しかったです。たくさんの人に研究を手伝って頂いているので, 今後もデータを積み重ねて, さらに研究を発展させていきたいと思ひます。【2-B 藤森友太】

今年の大会では, 数多くの有識者からアドバイスをいただきました。面白いや発展性があるという些細な言葉に, 頑張ってきた甲斐があったと強く感じました。私たちは9月15日に植物学会, 昆虫学会に参加してきますので応援のほどよろしくお願いします。【2-G 永末透威】

私たちは2年間地道にデータを積み重ねてきました。その結果2回目の賞を取れたのは非常に嬉しいです。そして, 大会で様々な人からアドバイスを頂いたのを参考にして今後も研究を続けていきたいです。【2-H 西村明洋】

ロケット甲子園2013

自然科学部物理班は, 8月24日に能代で行われたロケット甲子園に参加して来ました。昨年度は記録を残すことが出来ませんでした, 今年度は第3位に輝きました。

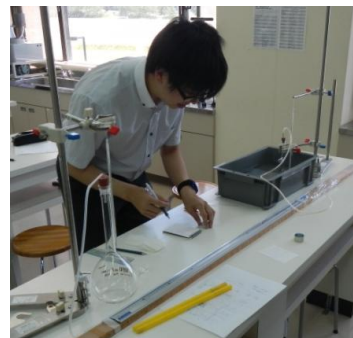
我々科学部物理班は部の活動としてモデルロケットの開発に取り組み、毎年秋田県能代市で行われる宇宙甲子園に出場しています。紙や木材を使用した機体に火薬エンジンを取りつけたモデルロケットを作製し、機体に積載した生卵2個を割らずに上空251mまで打ち上げ、滞空時間48~50sで回収するという競技です。基準に近づけることで高得点となります。去年の打ち上げデータを基に追加実験を行い、空気抵抗などを計算し高度や重量の調整を行いました。1回目の打ち上げではパーツ接合部の不備によりエンジンが脱落し失格、急遽機体の調整を行い2回目では251mには達しなかったものの無事回収し公式記録を出すことができました。結果は3位に終わりましたが、技術力の向上や新たな改善点も見え、部としては良い経験となりました。今後更に改良を加え、優勝を目指し次の世代に繋げていきたいと思ひます。【科学部物理班長 2H 東原昂輝】



物理チャレンジ 第2チャレンジ進出!

2Hの北村翼君が『全国物理コンテスト 物理チャレンジ 2013』に参加し、1117名の中から100名程度のみ選抜される2次チャレンジに進出することができました。

私は、今年の夏8月5日より4日間にわたり開催された全国物理コンテスト2次チャレンジに参加してまいりました。その内容は理論問題と実験問題及びそれらの結果による表彰式、そして筑波大学キャンパス内の科学施設の見学でした。この2次チャレンジに参加するには1次チャレンジを通過しなくてはなりません。その1次チャレンジも理論問題と実験問題による選考と形式は似通っておりますが、内容はまったくの別レベルとなっており2次チャレンジの問題にはまるで歯が立ちませんでした…。しかしこの物理コンテストはただの試験ではなく、上記のとおり様々な施設の見学もさせていただけるのです。どれもがとても興味深い施設で、大変よい経験になりました。できることならば、次回も参加したいと考えています。 【2-H 北村翼】



SSH 現代科学II 『卒業生による進路ガイダンス』

9月7日(土)高校2年生を対象に卒業生による進路ガイダンスが行われました。3時間目はサブアリーナで講演があり、4時間目は、いくつかのグループに分かれて相談会が開かれました。本校の卒業生14名を招き、大学の学部・学科選択についてどのように考えていたのか、また実際の大学での学びがどのようなものかなどのお話を聞きました。大学での学びや将来のキャリア形成について学ぶ機会となりました。



立命館慶祥 SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 特別講演会

『はやぶさ』が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行 その7年間の歩み

講師 川口淳一郎先生 (JAXA 教授)

日時: 2013年9月30日(月) 13:00~15:30

場所: 札幌市民ホール

対象: 中学1~3年, 高校1,2年, 高3RAコース

もうすぐです。
お楽しみに!!

